

令和7年度
「中学生モ二夕一会議」
活動記録

東京都北区総務部区長室

<はじめに>

北区では区民の方々から、区の施策に対する意見・要望・提案等を直接伺う「区政モニター会議」を開催しています。この「区政モニター会議」は、意見・要望・提案等を伺うだけでなく、区政への理解を深めていただくことも目的としています。

このほか、各世代が抱える課題や地域・区政が抱える課題等について話し合い、大人では気付かない視点から意見・要望・提案等を出していただく場として、小学生を対象とした「小学生との区政を話し合う会」、中学生を対象とした「中学生モニター会議」、高校生を対象とした「高校生モニター会議」を開催しています。

さて、このたび、中学生を対象とした「中学生モニター会議」を行い、活動記録を作成いたしました。

今年度は、「中高生世代が行きたくなるティーンズセンター」及び「飲食店の喫煙／禁煙がわかる標識を知ってもらうには」というテーマのもと、夏休み中の3日間（施設見学会含む）のべ17時間の会議を行いました。

はじめに、各グループで、テーマに関する話し合いを重ね、発表会に向けて発表資料を作成していただきました。そして、最終日の発表会では、区長の前で作成した発表資料をもとに、「中高生世代が関心を持つ設備やデザイン」、「喫煙者も禁煙者もお互いが気持ちよく過ごせる環境づくり」等について発表していただきました。

この活動記録では、中学生モニターの皆さんが「区に対して行った提案の内容」や、「提案に至るまでの経過」を紹介しています。

なお、中学生モニターの皆さんからの提案については、今後の区政運営の参考として、引き続き、若い世代の貴重な意見を区政に反映するよう努めてまいります。

令和8年2月

東京都北区総務部区長室

目 次

| | |
|----------------------------|-----|
| 1 「中学生モニター会議」活動内容..... | 1 |
| 2 「中学生モニター会議」発表会会議録..... | 1 1 |
| 1. <u>開</u> <u>会</u> | 1 1 |
| 2. <u>区 長 挨 拶</u> | 1 1 |
| 3. <u>出席者紹介</u> | 1 2 |
| 4. <u>活 動 報 告</u> | 1 2 |
| 5. <u>発</u> <u>表</u> | 1 3 |
| 6. <u>講</u> <u>評</u> | 3 6 |
| 7. <u>閉</u> <u>会</u> | 4 4 |

1 「中学生モニター会議」 活動内容

令和7年度の「中学生モニター会議」には、17名の中学生に参加していただきました。はじめに全体を通しての「活動内容」を紹介していきたいと思います。

「中学生モニター会議に参加してみようかな」と思っている中学生の皆さんは、ぜひ参考にしてください。

令和7年度 中学生モニター 活動実績

| 会 議 | 日 時 | 会 場 | 内 容 |
|----------------------|------------------------|-----------------|---|
| 委嘱式 施設見学 第1回会議 | 7月30日(水) 9:00~16:00 | 滝野川分庁舎 大会議室 | <ul style="list-style-type: none">・委嘱式・班内での自己紹介・テーマ1※についての現状把握、施設見学・話し合い提案検討・発表資料/台本の作成・発表練習 |
| 第2回会議 | 8月1日(金) 9:00~16:00 | 滝野川分庁舎 大会議室 | <ul style="list-style-type: none">・テーマ2※についての話し合い提案検討・発表資料/台本の作成・発表練習 |
| 発表会 | 8月5日(火) 9:00~12:00 | 北区役所別館 2階研修室 | <ul style="list-style-type: none">・テーマ1及び2についての提案報告 |

※テーマ1：中高生世代が行きたくなるティーンズセンター

テーマ2：飲食店の喫煙/禁煙がわかる標識を知ってもらうには

(1) 委嘱式

中学生モニターの最初の顔合わせです。自己紹介をしたり、今後のモニター会議の流れ等について説明を聞きました。

委嘱式の様子



グループワークの様子



(2) 施設見学会

今年度は北区にある「志茂子ども交流館」及び「滝野川東児童館」にて施設見学会を行いました。児童館に実際に足を運び、どんな設備があるか、また行きたいと思わせるような点があるのか等、いくつかのポイントを確認し、中高生世代の居場所づくりに向けたヒントを得ました。

施設見学の様子



(3) モニター会議

中学生モニター会議の中心となる活動です。

今年度は、4つの班に分かれ、班ごとにグループワークを行いました。グループワークでは、「中高生世代が行きたくなるティーンズセンター」及び「飲食店の喫煙／禁煙がわかる標識を知ってもらうには」の2つのテーマについて取り組みました。

「中高生世代が行きたくなるティーンズセンター」については、「児童館見学で感じたこと」→「自分らしく過ごせる居場所とは」→「中高生世代が行きたくなるティーンズセンターとは」という流れで考えていただきました。また、「飲食店の喫煙／禁煙がわかる標識を知ってもらうには」については、「受動喫煙が体に与える影響に関する動画の視聴」→「喫煙／禁煙がわかる標識があることをみんなに知ってもらうための効果的な方法は」という流れで、考えていただきました。

「グループワーク」や「会議」というと、なんだか難しいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはまったくありません。実際に参加してくれたモニターからも、「違う学校に通う生徒とたくさん話すことができすぎてすごく楽しかった。」「いろんな視点から北区について話し合うことができ、とてもいい時間だった。」などの感想を寄せてくれています。

気楽な雰囲気の中で自分の意見を発表してもらえよう心がけていますので、ぜひ、皆さんもモニターに応募してください。

動画を視聴する様子



きたコン（学習用端末）を利用したグループワークの様子



2日目の発表練習の様子



発表を受けて質問する様子



(4) 発表会

区長や区の関係者が出席するなか、区への提言と感想を発表してもらいました。3日間という短い期間でしたが、会が終わるころには他校の生徒との絆も深まり、発表を終えた中学生たちからは、充実した笑顔があふれていました。

発表の様子〈1班〉



発表の様子〈2班〉



発表の様子〈3班〉



発表の様子〈4班〉



発表に使用した資料〈1班〉

1班 이치반
「A space for Generation Z to enjoy」

1 ページ

【テーマの意味】
「A space for Generation Z to enjoy」
「Z世代が楽しく遊べる空間」という意味
中高生に「また来たい」とより思ってもらえるような場所を作ろう！

2 ページ

具体的な新しい設備・工夫

3 ページ

Wi-Fi設備があり、友達数人で遊べる部屋

Wi-Fiがあると...
スマホ使いたいな〜
ここなら楽しく使える！

4 ページ

映画鑑賞ができる大きなスクリーン

大きいから色々な人と一緒に楽しむことができる。
好きな映画を見ることができる。

5 ページ

リラックスしながら本や電子書籍を読める部屋

・静かな空間で寝そべってほんを讀んだり、椅子に座ったりして本を楽しむ
・電子書籍もある
これにより、この部屋があることで本好きの人が来たり、ストレス解消ができたり、趣味に没頭できたりします。

6 ページ

プリクラ機や撮影ブースなど

インスタ映えプリクラ ⇒ プリクラ機の設置 撮影ブース作成
中高生、特に女子にはプリクラやインスタ映えスポットなどの人気が高い
ティーンズセンターに撮影が楽しめる機械や場所を用意することで、より中高生に「行ってみたい」と思ってもらえる！！

7 ページ

Z世代が楽しく過ごせる空間を作るうえで大切なこと

ポイント

8 ページ

- ・自分の好きなことができる場所
- ・友達と話せる場所
- ・誰にも邪魔されず一人の時間を作れる場所
- ・安心して自分のしたいことができる場所

9 ページ

「飲食店の喫煙/禁煙がわかる標識を知ってもらうためには」

- ・自分たちが受動喫煙にあっていた場所 ⇒ マンション、コンビニの前、駅の前、道端
- ・受動喫煙や飲食店の標識掲示について学んだこと ⇒ 飲食店には、必ず喫煙か禁煙かのマークがある。禁煙マークだけでなく、喫煙可能マークなどがあることを知った。でもこのマークの存在すら知らない人が多いとわかった。

10 ページ

〈場所選りだけで、増える笑顔〉

喫煙する場所を変えるだけで、受動喫煙の被害が出る人が減り笑顔が増える。

11 ページ

ステッカーやチラシを利用する！！

具体的に！！

ステッカーやティッシュなどを配布する

いろいろな人の目に留まり、標識について意識を持ってもらえる

12 ページ

- ・身内や近い存在で喫煙をしている人 ⇒ 飲食店にある標識のこと
受動喫煙をすることによって周りの人に被害が及んでしまうこと
- ・友達 ⇒ 受動喫煙による被害の恐ろしさ
喫煙可の飲食店は20歳未満は入店できないこと
入店前にお店の標識をよく確認する必要があること

13 ページ

これで発表を終わります

ありがとう
ございました

14 ページ

笑顔の秘訣を作ろう！！

春夏秋冬☆



1 ページ

テーマ

中高生世代の笑顔が増える ティーンズセンター

〈コンセプト〉
自分の居場所と思える過ごしやすい場所にする

自分の居場所があることで

- ・趣味に全力で打ち込めて楽しむ事ができる
- ・友達と会って、遊べて楽しいと思える

家と学校だけでない新しい発見や交流を得られる
「**中高生のサード・プレイスの普及**」を目指す!!




2 ページ

現状での「課題」

そもそも

ティーンズセンターという名前が広まっていない!!

班で中学生モニターが始まる前からティーンズセンター知ってる人は一人しかいなかった

次に特定の世代しか来ていない、一人で行きづらい、行ったとしてもスマホを触るだけで終わってしまう。

...などの声があがった





3 ページ

児童館・子どもセンター・ティーンズセンター・ 交流館って？

児童館・子どもセンター・ティーンズセンター・交流館

遊びを通して児童の健やかな成長をはかり、情操をゆたかにすることを目指すとして設置された施設のこと!!

対象年齢↓

0～18歳、つまり中学生・高校生世代も利用できる!!




4 ページ

こんなティーンズセンターにしたい!!

イベント

- ・その場ならではの体験ができるもの
- ・すべての世代が参加できるパーティー
- ・自分の得意を発表できる会

その他

- ・中学生は大人に相談しづらい時期だから匿名で相談できて匿名で回答できる伝言掲示板を作る。
- ・背景を可愛くしたり写真撮影ができる部屋を作る

スポンジ

- ・思いっきり体を動かせる場所
- ・プレイホールが広い



5 ページ

→その理由は？

イベント→他校の人の交流が増えることでコミュニケーション能力が向上する。また、新しい人間関係を構築することができる。

スポーツ→SNSから少し離れて、体を動かすことで運動不足の解消につながる。

その他→悩みも無理に相談するよりも自然に解決できることで気持ち的にも楽に過ごせる場所になる。



6 ページ

まとめ!

私達が求めるティーンズセンターは

中高生世代の笑顔が増える
ティーンズセンター
でした!

私達は、北区が現状でのティーンズセンターの課題を活かして、いろんなティーンズセンター・児童館が増え中高生世代だけでなくみんなの世代の笑顔が増えればよいなと思っています。




7 ページ

次は受動喫煙について!!







8 ページ

喫煙者、非喫煙者にできること!!

喫煙者は、**自宅や車内を禁煙にする、喫煙場所を選ぶ際に周囲に配慮する、禁煙に挑戦する**などの行動が推奨されます。非喫煙者は、**喫煙者に近づかない、完全禁煙の飲食店を選ぶ、禁煙を促す**などの行動が考えられる。




9 ページ

受動喫煙はどこで行われているの？

受動喫煙は

公園・ベランダ・喫煙所の近く・駅の近く・路上で行われていた!

特に人が密集している駅などではホーム内にも喫煙所があり身近でも受動喫煙が多く行われていることがわかった。



10 ページ

互いに理解、互いに防止、互いに気遣い

伝えたいこと

喫煙者も非喫煙者も悪いことは一つもしていないからお互いに理解して相手のことを気遣って過ごしてほしいという思い。





11 ページ

飲食店での喫煙/禁煙が分かる標識を知ってもらうには

ポケットティッシュなどの実用性のある日用品に標識の説明を記入し、配布する

学校・たばこ販売店などで配布する

学生は**たばこの危険性**などを知ることができ、大人は**受動喫煙による被害**があるということを知れる



12 ページ

告知の方法を考えた理由

ポケットティッシュなどは、**日常的に使える身近なもの**だから!

配布場所も学校やたばこ販売店などは、やはり**身近なところにあり、学生の皆さんは特に受動喫煙などを**知って貰える機会になるから!





13 ページ

今後どのように役立てる？

今まで知らなかった喫煙の**危険性**やたばこについての**標識**など、今回の授業で学べたため、家族や友人などの周りの人に広めて**「受動喫煙にあう場面を少なく」**していきたいと思いました。





14 ページ

ご清聴ありがとうございました



15 ページ

発表に使用した資料〈3班〉

TMMS 一歩きたくなるティーンズセンター

誰もが過ごしやすい空間を目指して

それぞれの多種多様な目的にあった空間



1 ページ

1.立地
学校や家に近い場所

2.団体で利用できるスペース
何人かの専用部屋
広いミーティングルーム・ラウンジ

3.個人で利用できるスペース
集中できる自習スペース
専用の一人部屋

4.交流できるスペース
広いミーティングルーム・ラウンジ
発表ができる舞台・大きなプレイルーム

Idea

2 ページ

個人で利用できるスペースについて

自習室…静かな部屋で、集中して勉強したい人のための空間。

個人専用室…一人でなにかに集中して取り組みたいことがあるときに活動できる空間。

※イメージ




自習室

などー

3 ページ

団体で利用できるスペースについて

1.何人かの専用部屋
数人で借りられる部屋。声のボリュームがある程度大きくても迷惑にならない。誰でも気軽に利用できる。

2.広いミーティングルーム
団体で借りられる部屋。誰でも気軽に利用できる。

※イメージ



出典:photoAC

4 ページ

交流できるスペース

ラウンジ、




プレイルーム

引用元:左)宮城県立志波子ども交流館 右)やま市民交流広場

5 ページ

その他の意見

- 夜遅くまで利用できるようにする
- 飲食の制限をなくす
- 特技を披露できるイベント
- できるスポーツの種類を増やす
- 体育館等で使用する上履きの貸出
- たくさんの種類の本が置いてある図書コーナー



6 ページ

TMMS

飲食店の喫煙/禁煙がわかる標識を知ってもらうためには



7 ページ

TMMS キャッチコピー

標識を使って上手に店選び あなたも周りも過ごしやすい

キャッチコピーに込めた思いや、伝えたいこと

店選びをする際に喫煙や禁煙の標識を使ってほしい
また、自分も自分以外も気持ちよく過ごせるようにしたい




8 ページ

受動喫煙にあふ場所や、標識掲示で学んだこと

受動喫煙にあふ場所について

- 歩きタバコをしている人がまだまだたくさんいること。
- 公園や店の前などでも、喫煙している人が居ること。

標識掲示について

- まだ店にある標識の存在を知らない人がいること。
- 標識の種類が意外と多かったこと。



9 ページ

飲食店の喫煙/禁煙がわかる標識を知ってもらうための具体的な方法

| | | |
|--|--|--|
| 動画の作成・投稿 飲食店の喫煙/禁煙がわかる標識についてのでCMを作成し、ショート動画などのSNSサービスに投稿する。 | ポスター制作の協力要請 区の小中学生に飲食店の喫煙/禁煙がわかる標識についてのポスター制作をしてもらう | 標識の位置の改善 店を利用するお客さんがもと標識を見やすいように、標識の貼る場所を改善し、標識の存在を、知ってもらう。 |
|--|--|--|

SNSは多くの人が利用するため、より多くの人に知ってもらえる。

ポスター制作を通して標識について知識を深めてもらえる。



10 ページ

話し合ったことを今後に活かす

話し合ったことを今後どのように周りの大人たちや友達に伝えていこうか。

日常の話題に取り入れる

↓

日頃から受動喫煙に対する意識を高める

例えば…

(一緒に飲食店へ出かけるときに標識の話をする
ポスターへの関心など

11 ページ

まとめ

受動喫煙の話し合いを通して…

- 飲食店の標識など受動喫煙が身近な問題として認識するようになった
- 受動喫煙への意識が高まった

12 ページ

ご清聴ありがとうございました。



13 ページ

発表に使用した資料〈4班〉

チーム★IMAKAWA

1. IMAKAWA 児童館の設計図
2. 禁煙がわかる標識を知ってもらうには

1 ページ

中高生が行きたくなる
ティーンズセンター

IMAKAWA 児童館の設計図



2 ページ

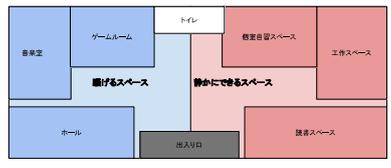
「IMAKAWA 児童館の設計図」概要

実際に北区にある児童館などをベースにして、
中高生たちが「また行きたい！」と思える場所を
設計図にして考えてみました。



3 ページ

児童館見取り図(全体像)



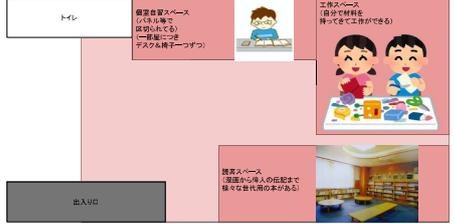
4 ページ

児童館見取り図(騒げるスペース)



5 ページ

児童館見取り図(静かにできるスペース)



6 ページ

みなさんもIMAKAWA 児童館に来てみませんか!?



7 ページ

禁煙がわかる標識を知ってもらうには



8 ページ

頻繁に見かける受動喫煙

- ・駅の近くの喫煙所
- ・路上で吸っている人の近く
- ・居酒屋
- ・コンビニのドアの前



9 ページ

キャッチフレーズ
「STOP!!
標識を見て吸っていますか?」



10 ページ

広める方法① 講習会を開く!!



・標識について知る/興味を持つきっかけとなる
・標識を見て意識してくれるようになる

11 ページ

広める方法② パンフレットを配布する



・多くの人に標識を知ってもらえる
・形となって何回も読める

12 ページ

学んだ内容を活かす方法

- ・パンフレットの存在を周知して飲食店の喫煙禁煙がわかる。
- ・付近のよく見る掲示板等にポスターを貼る。
- ・実際に家族と標識について話し合い再び理解を深める。

13 ページ

ご清聴ありがとうございました。



14 ページ

集合写真〈1班〉



集合写真〈2班〉



集合写真〈3班〉



集合写真〈4班〉



2 「中学生モニター会議」発表会会議録

- 日 時 令和7年8月5日（火） 午前9時から正午
- 場 所 北区役所 別館研修室
- テーマ 「中高生世代が行きたくなるティーンズセンター」及び
「飲食店の喫煙／禁煙がわかる標識を知ってもらうには」
- 出席者 中学生 10校14名
区長、政策経営部長、北区保健所長、子ども未来部長、教育振興部長、
生活衛生課長、生活衛生課職員、子どもわくわく課長、
子どもわくわく課職員、区長室長、区長室職員

1 . 開 会

◎区長室長

それではお待たせいたしました。皆さん、改めましておはようございます。

本日はご出席いただきありがとうございます。これより令和7年度中学生モニター会議発表会を行います。

本日の司会を務めます区長室長です。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、本日は、報道担当が来ております。皆さんの様子を撮影させていただき、写真を各新聞社に提供するとともに、区のホームページなどに掲載したいと考えております。またケーブルテレビのJ：COM株式会社も取材に来ており、皆さんの様子を録画いたします。「地元トピックス」という名の放送番組で、今後、放送される予定でございますので、お手元の資料でご確認ください。J：COMが見られないという皆さんもいるかもしれませんが、「ど・ろーかる」というアプリがあるので、そこから見ていただくこともできるそうです。詳しく知りたいかたは、事務局にお問合せいただければと思います。

なお発表会が終了した後、報道担当及びJ：COM株式会社から取材をさせていただく場合がございますので、その際にご協力をお願いいたします。

それでは、開会に当たり、やまだ区長からご挨拶を申し上げます。

2 . 区 長 挨 拶

◎やまだ区長

皆様、おはようございます。今日はいよいよ発表会です。この間、皆さん、ほかの学校の仲間と色々なことを勉強し、体験し、感じていただいたと思います。そして、まとめていただいたと思います。今日の発表を通じて私たち区といたしましても、皆さんの意見をしっかりと受け止めさせていただいて、区の政策に反映していきたいと

どうぞよろしくお願いいたします。

3 . 出席者紹介

◎区長室長

続きまして、本日の出席者を紹介します。

改めましてやまだ区長でございます。

◎やまだ区長

頑張ってください。お願いします。

◎区長室長

政策経営部長でございます。

◎政策経営部長

おはようございます。よろしくお願いいたします。

◎区長室長

北区保健所長でございます。

◎北区保健所長

おはようございます。発表どうぞよろしくお願いいたします。

◎区長室長

子ども未来部長でございます。

◎子ども未来部長

楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

◎区長室長

教育振興部長でございます。

◎教育振興部長

よろしくお願いいたします。

◎区長室長

生活衛生課長でございます。

◎生活衛生課長

おはようございます。よろしくお願いいたします。

◎区長室長

子どもわくわく課長でございます。

◎子どもわくわく課長

発表、頑張ってください。

4 . 活動報告

◎区長室長

それでは、発表に入ります前に、これまでの活動について簡単に報告をさせていただきます。

中学生の皆さんは、G o o g l e クラスルームの授業から入っていただいて、区長室のフォルダの活動実績をご覧ください。

まず7月30日に委嘱式と第1回会議を行いました。第1回会議では、4つの班に別れて2つの児童館を見学して、中高生世代が行きたくなるティーンズセンターについて検討をし、グループワークをしていただきました。8月1日の第2回会議では、飲食店の喫煙・禁煙が分かる標識を知ってもらうためにはということについて、グループワークを行っていただきました。お写真は、写真フォルダにありますので、よろしければご覧ください。そして、本日、第3回会議として発表会を行います。この後2日間にわたり取り組んでいただいたグループワークの結果、成果を区長の前で発表していただきたいと思います。

5 . 発表会

◎区長室長

それでは、グループワークの結果を、各班から発表していただきます。発表は、1班から2班、3班、4班という順番で行います。

発表の前にまず1人ずつ学校名、氏名、活動に参加した感想などを簡単に発言いただいて、その後、班としての発表をお願いできればと思っております。

◎中学生（1班）

堀船中学校2年の〇〇〇です。

この2日間で区のことについて考えることができたり、いろいろな人と意見が交流できてとてもよかったです。ありがとうございました。

◎中学生（1班）

田端中学校2年の〇〇〇です。

ほかの学校の人とはふだん話さないから、いろいろな経験ができてよかったです。3日間ありがとうございました。

◎中学生（1班）

明桜中2年の〇〇〇です。

ふだん関わらないような他校の生徒の皆さんと話し合いができたり、ほかのグループの人たちの発表を聞いたりして、より視野が広がりました。3日間ありがとうございました。

◎中学生（1班）

これから1班の発表を始めます。

1班のテーマは、「A space for Generation Z to enjoy」です。

この「A space for Generation Z to enjoy」というテーマの意味は、Z世代が楽しく遊べる空間という意味です。中高生の皆さんに、また来たい、居心地がいい、安心できると思ってもらえるような場所を作るという意味が込められています。そこで具体的な新しい設備、工夫をそれぞれで提案します。

◎中学生（1班）

僕が、児童館にあったらまた来たいと思うのは、W i - F i 設備があり、友達数人

で遊べる部屋です。公園は外でスマホを使うと、ギガも多く使うし、通信速度が遅くなることがあります。そこでWi-Fiの設備があり、友達数人で遊べる部屋があれば、ゲームなどを通して楽しい時間を過ごすことができると思うので、このような部屋があったらいいなと思いました。

◎中学生（1班）

私は、映画鑑賞ができる大きなスクリーンがあったら楽しく過ごせると思いました。これを設置することで、いろんな人と一緒に楽しむことができたり、映画館とは違いDVDなどがあれば、好きな映画を見ることができます。そして、コスパよくストレス解消にもなります。

◎中学生（1班）

僕は、リラックスしながら、本や電子書籍を読める部屋もあったらいいなと思いました。この部屋を設置することで、静かな空間で寝そべて本や電子書籍を読んだり、椅子に座って本や電子書籍を読むことができます。この部屋があることで、本好きな人が来たり、ストレス解消ができたり、趣味に没頭できたりします。

◎中学生（1班）

中高生、特に女子には、プリクラやインスタ映えスポット等がとても人気です。私自身、よく友達と遊びに行ったときに、写真を撮ったりしています。だから、ティーンズセンターに撮影が楽しめる機械や部屋を用意することで、より中高生に行ってみたい、また来たいと思ってもらえるような場所が作れると思います。また撮影ブースの設置に関しては、部屋をデコレーションしてスマホやカメラを置く場所を作ればよいと思っています。

◎中学生（1班）

中高生がまた来たいと思うような設備や工夫を説明してきました。次にZ世代が楽しく過ごせる空間を作る上で、重要なポイントをまとめました。

まず自分の好きなことができる場所、自分の趣味や好きなことができる場所作りが必要です。

次に、友達と話せる場所、友達と遊んだり話したりするのがより楽しくなる場所にしたいです。

最後に誰にも邪魔されず1人の時間が作れ、安心して自分のしたいことができる場所。自分とは違う人も尊重し、安心して過ごせるような場所は、居心地がいいという気持ちにつながります。

◎中学生（1班）

次に、飲食店の禁煙／喫煙が分かる標識を知ってもらうためには、です。僕たちが受動喫煙にあっていた場所として、マンション、コンビニの前、駅の前、道端などが多く挙げられました。受動喫煙や飲食店の標識掲示について学んだことは、飲食店には、必ず禁煙か喫煙かのマークがあることです。喫煙マークだけでなく、禁煙可能マークなどがあることを知りました。でも、このマークの存在すら知らない人が多いことが分かりました。

◎中学生（1班）

私たちが選んだキャッチコピーは、「場所選びだけで増える笑顔」です。このキャ

タッチコピーを通して伝えたいことは、喫煙する場所を変えるだけで、受動喫煙の被害を受ける人が減り、笑顔が増えるということです。飲食店の喫煙、禁煙が分かる標識を知ってもらうためには、啓発ツールを使うといいと考えます。例えばステッカーやチラシなどです。具体的な方法は、ステッカーやチラシなどを街で配布することです。なぜこの方法が効果的なのかと言うと、いろいろな人の目に留まり、標識について意識を向けてもらえるからです。

◎中学生（1班）

これらのことを今後、身内や友達に伝えていくために、飲食店にある標識のことについて話して、受動喫煙をすることによって、周りの人に被害が及んでしまうことを知ってもらいます。友達にも受動喫煙による被害の恐ろしさを伝え、喫煙可の飲食店は、20歳未満は入店できないこと、入店前にお店の標識をよく確認する必要があることを伝えます。

◎中学生（1班）

これで発表を終わります。ありがとうございました。

◎区長室長

1班の皆さん、ありがとうございました。

1班の皆さん、その場に残ってください。

それでは、ほかの班の皆さんから、今の発表に対して質問やご意見、感想を聞きたいと思います。

じゃあ、2班から順番に聞きますか。

◎中学生（2班）

1人ずつちゃんと自分がやりたいことを挙げていて、しかも具体的に話していて、例えば私が印象に残ったのは、プリクラ機能の話なんですけど、そういう今、流行っているものとか、中高世代に人気があるものをちゃんと捉えていてすごいなと思いました。

以上です。

◎区長室長

次、3班の皆さんどうでしょうか。

◎中学生（3班）

受動喫煙防止の啓発グッズで配っていたステッカーという考えが思い浮かばなくて、私は、いいなと思いました。

◎区長室長

4班の皆さんどうでしょう。

◎中学生（4班）

私も3班の方と同じなんですけど、ティッシュとステッカーに受動喫煙、標識のことを入れるのはすごくいいなと思って、ポケットティッシュとかは、よく街で配っているのを見かけるので、すごく良いんじゃないかなと思いました。

以上です。

◎区長室長

ありがとうございました。どの班の方でもいいですけど、ほか中学生の皆さんから

質問とかご意見はありますか。大丈夫ですか。

そうしたら、理事者の皆さんからの質疑に移らせていただきたいと思います。

子ども未来部長と目が合うので、子ども未来部長、お願いします。

◎子ども未来部長

本当に素敵な提案ありがとうございました。DVD、恐らく著作権の関係で難しい気がしたの。ソフトをやってもみんなで観るというのが、ちょっときついな、ひょっとしたら。ちょっと自分も検討しているいろいろやったことがあるんだけど、どういうふうにしたらいかなと、ちょっとまた考えてもらえる？

あとプリクラは、あったら来る？本当？

◎中学生（1班）

はい。

◎子ども未来部長

じゃあ、頑張る。

先生ともこの後、終わったらちょっと話してみましよう。

素敵な提案、どうもありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございます。

所管課長の子どもわくわく課長どうでしょうか。

◎子どもわくわく課長

発表ありがとうございました。

私からは、1つちょっと質問があるんですけど、ティーンズセンターの発表のほうで、結構安全・安心という言葉が出てきたんですけど、率直に皆さんの周りって、安全・安心な場所があんまりないんですかね。ちょっとそれを聞いてみたいなと思ひまして。

◎中学生（1班）

ティーンズセンターで中高生が楽しめるという空間を作ると共に、学校とか安全・安心できるな、居心地がいいなと思えるような場所かどうかは、人によって違うと思うんですけど、結構個室というか、それぞれが自分のしたいことをできる空間、「Z世代が楽しく過ごせる空間を作るうえで大切なこと」でも挙げたんですけど、そういうふうに、それぞれが自分に合った安心できる場所を作れるような場所にしたいなと思ひています。

◎子どもわくわく課長

ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございました。

中学生の皆さん、毎日大人の視線とか、お互い学生どうしの視線にさらされて、1人になりたいんですよ、きっとみんなね。ぜひ所管課の皆さん、1人になれる空間を作っけてあげていただければと思ひます。

そうしたら、受動喫煙のほうで、質疑も次に進めていきたいと思ひんですけど、所管課長の生活衛生課長、よろしいですか。

◎生活衛生課長

1班の皆さん、素敵な発表をありがとうございました。

1つ質問させていただきたいんですけれども、ステッカーやティッシュですね。キャンペーンとかで駅前でティッシュを配るといっているんですけども、この標識のことではなくて、受動喫煙防止のこととか、ポイ捨て防止のこととかで、駅前キャンペーン、通勤する方や通学する方に配るんですけど、この標識を知ってもらうためのステッカーとかティッシュを作ったとして、どういう人たちに配ると効果的かと思っていられるか、教えていただくとありがたいなと思います。

◎中学生（1班）

まずステッカーやティッシュなどを配布したというので、具体的に理由が言えなかったんですけど、「いろいろな人の目に留まり」というのは、最初は講習会を開くという意見があったんですけど、それもとてもいいと思うんですけど、わざわざ自分から興味を持って行こうと思わないと、そういうのを知る機会がないと思うので、私たちからそういうのを知ってもらうために活動することで、多くの人の受動喫煙を防止するための標識があることを、知ってもらえると思ったんです。なので大人とか子どもとか関係なく、より多くの人にその標識のことを知ってもらうために、ステッカーやティッシュなどの配布が、効果的なんじゃないかなと思って、その意見を出しました。

◎生活衛生課長

ありがとうございます。

限られたところじゃなくて、よりターゲットも広くして、配る人たち、配る側もいろんな人たちの力を借りながらというのが、効果的だなというようなことですね。

◎中学生（1班）

はい。

◎生活衛生課長

ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございました。

周知啓発はプッシュ型じゃなきゃいけないと、そういうことですね。非常にいいご提言を中学生の皆さんからいただきました。ありがとうございました。

北区保健所長、どうでしょう。

◎北区保健所長

いいご提案をいただいてありがとうございます。

結構私たち、生活衛生課で扱うことなんですけど、こうした健康課題、多様な多くの方々に受動喫煙が影響するところなんですけれども、特に子どもさんに対して、私たち受動喫煙等は止めたいところです。そうした中で、ステッカーやティッシュを配布する、それも若い世代でしていただくと、とても効果的なのかなというふうに思います。

あとは、広報、周知をするときは、どうしてそれが意味があるのかよく分かっていた上で、分かりやすく周知するというのが、とても大事なことです。多様な方法で、しかも分かった世代の人がしていただくというのも、とても大事なことです。

と思いました。いいご提案をありがとうございました。

◎区長室長

ありがとうございます。

ぜひこのティッシュは、公衆喫煙所の前で配っていただきたいなと思います。よろしくをお願いします。

それでは、質疑の最後は、教育委員会の教育振興部長、お願いします。

◎教育振興部長

1班の皆さん、提案ありがとうございました。

質問をさせていただきます。まず若い人の居場所の中で、比較的、ハード整備や物を用意するというのが多かったと思うんですけど、物がないとやっぱり来ないかな？何かイベントみたいなものとか、よくやっているのは、例えばお祭りとか、地域の人たちと一緒にやってたりするんだけど、そういう僕らはハードとソフトと言ったときに、ソフトの企画とか、こういうのやってくれたら行くよというものがあったら教えてもらいたいというのが1個目。

喫煙のほうについては、結構、区役所ってティッシュとかって配っているんです。見たことありますか？皆さんはティッシュってもらったら、その中身って、しっかり見ますかねというところを聞きたい。自分が受け取ったときに、そのティッシュって思っているよりちゃんと、見てくれているんだったら僕らも一生懸命ティッシュを作って配るんだけど、ティッシュじゃなくて、こういうものもらったほうが自分たち見るなというものがあったら、教えてもらいたいし、いや、いや、ティッシュでいいよと言うんだったら、押し切ってもらって構わないです。その2点教えてください。

◎中学生（1班）

まずイベント開催のほうの質問なんですけど、ここでは設備とか物とかのほうを提案したんですけど、こういう場所とか工夫をした上で、多分もうおこなってらっしゃると思うんですけど、例えばゲームだったら、eスポーツの大会を開催したりとか、そういうのをもっと大規模にしたり、あとはさっきちょっと言ったと思うんですけど、撮影ブースの設置は、大人がやるんじゃなくて、壁紙を貼ったりとか、デコレーションとかをみんなで定期的に変えたりとかしても楽しいかなというイメージです。そういうイベントを開催してもいいかなと思っています。

そして、ティッシュの効果性に関してなんですけど、学校でも、ポスターとか、夏休みの宿題とかのポスター、コンクールとかで賞を取った方のイラストが載っているものを配布されたりとかするんですけど、結構デザインとかも個性的だったりメリットもあるものだったりするので、割と中高生とか学生だと、そういうデザインとか目に留まるようなものを使うと、結構見るかなと思っています。少なくとも私は結構そういうのは見るほうだと思うんですけど、デザインとかに工夫をしたら、よりもっと多くの人に見てもらえるかなと思います。

◎教育振興部長

ありがとうございます。

eスポなんかは、やっていたりするところ、ありますよね。できなくはないかなと思いました。部屋の装飾なんかも向こうに、児童館の人たちがいるんですけど、でき

ると言っているなので、参考にできればと思います。ポスコンについては、結構学校でもやっていたりするので、受動喫煙のチームと学校が連携してやることもできるかなと思ったので、参考にさせていただきます。ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございました。1班の皆さん、これで終わりです。ありがとうございました。発表を終わります。

ちなみに1班の皆さん、チーム名が韓国語で「이지반（イチバン）」というグループ名です。最初にグループ名を発表するのを忘れてすみません。

では、2班の皆さん、よろしいですか。

2班のグループ名は、「春夏秋冬☆」ということです。何か思いがあるのかな。

それではお願いします。

◎中学生（2班）

滝野川紅葉中学校の2年〇〇〇です。

この3日間を通して、北区が抱えている課題などに触れることができ、楽しかったですし、みんなと話し合うことで、いろんなアイデアが生まれて面白かったです。3日間ありがとうございました。

◎中学生（2班）

浮間中学校2年〇〇〇です。

身近なことだけど、あまり考えたことがないことを、自分だけでなくほかの子と、新しい視点で考えることができ、楽しかったです。ありがとうございました。

◎中学生（2班）

赤羽岩淵中学校2年の〇〇〇です。

他校の人との交流は、あまりなかったんですけど、この中学生モニターを通して、他校の人と交流することができてよかったです。貴重な体験をありがとうございました。

◎中学生（2班）

私たち2班が発表するタイトルは、「笑顔の秘訣を作ろう」です。テーマは、中高生世代の笑顔が増えるティーンズセンターです。コンセプトは、自分の居場所と思える過ごしやすい場所にすることです。自分の居場所があることで、趣味に全力で打ち込めて楽しむことができ、友達と会って遊ぶと楽しいとすることができます。家と学校だけではない新しい発見や交流ができる中高生のサードプレイスの普及を目指します。

◎中学生（2班）

現状での課題です。そもそもティーンズセンターという名前が広まっていないという課題から始まりました。班で中学生モニターが始まる前から、ティーンズセンターを知っている人は1人しかいませんでした。次に、特定の世代しかティーンズセンターに来ていない、1人で行きづらい、行ったとしても、スマホを触るだけで終わってしまうなどの声が上がりました。

◎中学生（2班）

そもそも、児童館、子どもセンター、ティーンズセンター、交流館とは、何でしょうか。児童館、子どもセンター、ティーンズセンター、交流館は、遊びを通して児童の健やかな成長を図り、情操を豊かにすることを目的として設置された施設のことです。また対象年齢は、0歳から18歳のため、中学生、高校生世代も利用することはできます。

◎中学生（2班）

そこで私たちが考える「こんなティーンズセンターにしたい」は、イベントの分野からは、その場ならではの体験ができるもの、全ての世代が参加できるパーティー、自分の得意を発表できる会などが挙がり、スポーツの分野からは、思い切り体を動かせる場所、プレイホールが広い、その他の分野からは、中学生は、大人に相談しづらい時期だから、匿名で相談できて、匿名で回答できる伝言掲示板を作る、背景をかわいくしたり、写真撮影ができる部屋を作るといった意見が出ました。

◎中学生（2班）

先ほどのスライドの理由を説明します。イベントは、他校の人との交流が増えることで、コミュニケーション能力が向上します。また新しい人間関係を構築することができます。スポーツは、SNSから少し離れて、体を動かすことで、運動不足の解消につながります。その他は、悩みも無理に相談するよりも、自然に解決できることで、気持ち的にも楽に過ごせる場所になる。そういったメリットが挙げられます。

◎中学生（2班）

まとめです。私たちが求めるティーンズセンターは、中高生世代の笑顔が見えるティーンズセンターでした。私たちは、北区が、現状でのティーンズセンターの課題を活かしている様々なティーンズセンターや児童館であふれ、中高生世代でなく、たくさんの世代の笑顔が増えればいいなと思っています。

次は、受動喫煙についてです。

◎中学生（2班）

喫煙者、非喫煙者にできることです。喫煙者は、自宅や車内を禁煙にする。喫煙場所を選ぶ際に周囲に配慮する、禁煙に挑戦するなどの行動が推奨されます。非喫煙者は、喫煙者に近づかない完全禁煙の飲食店を選ぶ、禁煙を促すなどの行動が考えられます。

◎中学生（2班）

そもそも受動喫煙は、どこで行われているのかというと、公園、ベランダ、喫煙所の近く、駅の近く、路上で行われていることが分かりました。特に人が密集している駅などでは、ホーム内にも喫煙所があり、身近でも受動喫煙が多く行われていることが分かりました。

◎中学生（2班）

そこで私たちが考えたキャッチフレーズは、「互いに理解、互いに防止、互いに気遣い」です。喫煙者も非喫煙者も、悪いことは1つもしていないから、お互いに理解して、相手のことを気遣って過ごしてほしいという思いを込めました。

飲食店での喫煙、禁煙が分かる標識を知ってもらうには、ポケットティッシュなどの実用性のある日用品に標識の説明を記入し配布します。学校やたばこ販売店などで

配布することで、学生は、たばこの危険性などを知ることができ、大人は受動喫煙による被害があるということを知ることができます。

◎中学生（2班）

周知の方法を考えた理由として、ポケットティッシュは、身近に使えるものだからです。配布場所も、学校やたばこ販売店などは、やはり身近なところにあり、学生の皆さんは、特に受動喫煙などを知ってもらえる機会になるからです。

◎中学生（2班）

今後、どのように役立てるかです。今まで知らなかった喫煙の危険性やたばこについての標識など、今回の授業で学べたため、家族や友人など周りの人に広めて、受動喫煙に遭う場面を少なくしていきたいと思いました。

◎中学生（2班）

ご静聴ありがとうございました。

◎区長室長

2班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、早速質疑に移らせていただきます。

では、3班の皆さんからご質問とか、ご意見とか、感想とかありましたらお願いできますか。

◎中学生（3班）

まずティーンズセンターのほうで、「笑顔あふれるティーンズセンター」というテーマが、とてもいいなと思いました。やっぱり中学生ということで、悩むこととかも多くなっているので、そういうことができるようになったら、もっと過ごしやすくなるかなと思いました。

喫煙のほうは、場所もちゃんと意識して、ティッシュを配ったりするというのが、すごくいいなと思いました。より効果的だし、いろんな人に知ってもらえる、喫煙している人にも、たばこについていろんなことを分かってもらえるという点も、とてもよいと思いました。

◎区長室長

ありがとうございます。

次、4班の皆さんの中からどうでしょうか。

◎中学生（4班）

ティーンズセンターのほうは、中学生がスポーツしたり、思い切り体を動かせる場所にするというのは、すごくいいなと思いました。0歳から18歳まで使えるティーンズセンターに実際に行ってみて、中高生になると体が大きくなってきて、使える場所が狭くて使いづらいなと思ったので、いい意見だなと思いました。

受動喫煙のほうは、受動喫煙が行われる場所として、公園、ベランダとかがあったんですけど、自分の班でもそういう意見が多く出て、人が密集しているところは、気をつけたいなと思いました。

以上です。

◎区長室長

ありがとうございました。

そうしたら最後、1班の方から、いかがでしょうか。

◎中学生（1班）

ティーンズセンターの思い切り体を動かせる場所として、プレイホールが広いというのがいいなと思いました。バレーボールとか、あと、ダンスの団体とか、結構そういう場所を私の周りで使いたいというのを聞いたりするので。

あと受動喫煙のほうで、喫煙者も非喫煙者も悪いことは、何1つしていないという、お互いを理解してというところがとてもいいなと思いました。

以上です。

◎区長室長

ありがとうございました。

今、とてもいい感想がいっぱい出ましたね。喫煙している人もしていない人も、どっちも悪くないんですよ。ねえ、教育振興部長。すみません。急に振っちゃって。

そうしましたら、区側の部課長の皆さんにちょっとお話をいただきたいと思います。子どもわくわく課長、どうでしょう。

◎子どもわくわく課長

発表ありがとうございました。

またティーンズセンターについて質問したいなと思っているんですけど、悩みを相談できるような場所が、というようなお話がちょっと出たんですけど、それは、我々も考えていまして、率直に皆さんが、悩みを相談しやすいような場所って、どういうふうに作っていったらいいかなということをお聞きしたいなと思います。どういう場だったら悩みって相談しやすいでしょうか。

◎中学生（2班）

個人的な意見になってしまうんですけど、私、大人に相談するのがすごく苦手で、何かいい子でいたいみたいな感じになっちゃうと、大人に相談するとき、ちゃんと自分の意見を言えないということがあるので、何か的確な答えがほしいけど、大人には相談しづらいみたいなものがあるから、匿名だと相談しやすいと思います。回答者も匿名でいろいろな人が回答してくれると、大人だけじゃなくて、同じ年代の人かもしれないし、身近な自分の悩みが解決しやすくなるんじゃないかと思ってこの意見を出しました。

◎子どもわくわく課長

ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございます。すごくしっかりとしたご意見でした。私もいい子になりたがっちゃうんですね、ついつい。いつも反省しています。

では、生活衛生課長どうでしょうか。

◎生活衛生課長

2班の皆さん、ありがとうございました。

ちょっと教えていただきたいなと思ったのが、受動喫煙に遭ってしまう場として、駅のホームというのがあったと思いますが、実際に今、駅の中というのは、どこも禁煙になっているかと思うんですけども、もしも、北区の中でそういう駅があったとした

ら、どこだったかというのを教えてもらえるとありがたいなと思ったのが1つと、あとやはり啓発のグッズとしては、ポケットティッシュが人気なんだなということをおもひまして、ポケットティッシュは、割合使いがちなので、もしもこの班の検討の中で、こういうグッズもいいんじゃないか、あるいは自分がもらって、これはうれしかったなというものがあれば、発表には採用されなかったかもしれないんですけど、教えていただくとありがたいです。お願いします。

◎中学生（2班）

まずホーム内という件に関しては、私がちょっと部活動で遠征をしているときに、見間違いかもしれないんですけど、喫煙という言葉がホーム内にあったなというので書かせてもらったんですけど、禁煙になっているとは知りませんでした。

ティッシュ以外に関してなんですけど、学校でたまにクリアファイルが配られるので、私はそういう学校でも使える感じの実用性のあるものがないんじゃないかなと思いました。

以上です。

◎区長室長

ありがとうございます。

そうしましたら子ども未来部長どうでしょう。

◎子ども未来部長

〇〇〇さんが浮中でティーンズセンターを知っていた。その人以外は知らなかった。併設しているんだもんね、知っている。そこで知られなかったらどうしようというぐらいに、本当にティーンズセンターが知れ渡っていないというのは、所管として非常に重く受け止めて、もっと楽しいんだよとバズらせるような仕組みをいろいろ考えたいと思います。

ごめんなさい。自分ばかりでは面白くないので、浮間子どもティーンズセンター長、ちょっと何か言ってあげてもらっていい？

◎浮間子どもティーンズセンター長

素敵なお意見ありがとうございます。

本当に皆さんが居心地がいい、安心していただけるという場所を、私たち職員も日々いろいろ試行錯誤しながら作っていきたくと思っています。今日のいろんな意見を現場に戻ってみんなに共有したいと思います。

1つ質問してもよろしいでしょうか。いろいろなティーンズセンターも、工夫をしているんですが、なかなかPRができないというところで、皆さんがティーンズの居場所を調べるときに、何を使って、どういう媒体から、調べているのかな、調べやすいのかなというのを教えていただけますか。

◎中学生（2班）

僕は交流館とかは、友達がよく行くので一緒に遊びに行くときに、交流館は、こちら辺にあるんだなとか思ったりしていました。

◎浮間子どもティーンズセンター長

ありがとうございます。

◎区長室長

先生方いいですか。

では北区保健所長、最後にすみません、お願いします。

◎北区保健所長

受動喫煙の件です。喫煙者も非喫煙者も両方悪くないというところですけども、喫煙者が悪いということでは、もちろんなくて、お互いのために気を遣って行動してほしい。それを標識にして分かりやすく、特に多い飲食店での喫煙を避けてもらうということはとても良い表現かなと思います。禁煙の場所で喫煙するという行動が困るということであって、それを直していく。場所を見ながら吸っていただくと。よく分かりました。効果的に使える標識を作っていきたいと思います。

◎区長室長

2班の皆さん、ありがとうございました。

続いて3班の皆さん、準備をお願いします。

3班のチーム名は、「TMMS」です。

◎中学生（3班）

浮間中学校2年の〇〇〇です。

私は、このモニター会議を通して、今まで北区のことについてそんなに考えることがあんまりなかったのですが、このモニター会議で北区のことについてたくさん考えることができ、積極的に意見を言ったり反省とかに参加することができてよかったです。3日間ありがとうございました。

◎中学生（3班）

滝野川紅葉中学校の〇〇〇です。

僕も北区のことについては、今まであんまり考えたことがなかったんですけど、今回の貴重な体験で、他校の人たちとみんなで話し合うことができたので、いい経験だったと思いました。ありがとうございました。

◎中学生（3班）

赤羽岩淵中学校の〇〇〇です。

今回の中学生モニター会議では、他校の生徒と交流しながら、北区の施設や取組について考えることができて、とても楽しかったです。貴重な機会をありがとうございました。

◎中学生（3班）

都の北学園、8年の〇〇〇です。

ふだんあんまり考えないようなテーマだったけれど、班のみんなで楽しみながら考えを深めることができて、とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。

◎中学生（3班）

十条富士見中学校の〇〇〇です。

私は、この中学生モニターに参加するまで、ティーンズセンターについても受動喫煙の標識についても知らなかったのですが、このモニターに参加して知識も深められたし、このことについてみんなで意見を出し合うことも、すごく貴重な経験になりました。ありがとうございました。

◎中学生（3班）

これから「TMMS」の発表を始めます。

まずはティーンズセンターについてです。私たちのテーマのコンセプトは、「誰もが過ごしやすい空間を目指して」です。

このテーマ、コンセプトに合わせて私たちは、4つの意見を出しました。

1つ目は、立地です。主な例は、学校や家に近い場所です。

2つ目は、団体に利用できるスペースです。

3つ目は、個人で利用できるスペースです。

4つ目は、交流できるスペースです。

◎中学生（3班）

初めに、個人で利用できるスペースについてです。

まず自習室です。ここは、勉強したい人が静かな部屋で集中して勉強に励むことのできる空間です。イメージは、左下のような感じです。

次に、個人専用室です。ここは、1人で本読みや勉強などを集中して取り組みたい人の空間です。自習室とは違い、1人だけで入る空間なので、勉強以外のことも集中して取り組むことができます。

◎中学生（3班）

次に、団体に利用できるスペースについてです。

1つ目は、何人かの専用部屋です。こちらは、数人で借りられる部屋で、多少騒いでも大丈夫です。

2つ目は、広いミーティングルームです。こちらは、団体に借りられる部屋で、勉強に限らず、話し合いなど幅広い用途で使うことができます。どちらも誰でも気軽に利用できます。

続いて、交流できるスペースについてです。このスペースでは、幅広い世代の人たちが、交流できるようになっています。ラウンジでは、自由に話したり、遊んだりすることができ、出入り自由の広場やプレイホールでは、楽しく話したり、体を動かしたりすることができます。

◎中学生（3班）

最後に、班で出たその他の案についてです。上から、夜遅くまで利用できる、飲食の制限をなくす、特技を披露できるイベントの開催、できるスポーツの種類を増やす、体育館等で使用する上履きの貸出し、漫画だけでなく、たくさんの種類の本が置いてある図書コーナーが挙げられました。

◎中学生（3班）

次に、喫煙・禁煙についてです。

私たちのテーマは、「飲食店の喫煙・禁煙が分かる標識を知ってもらうには」です。

初めに「TMMS」のキャッチコピーです。私たちのキャッチコピーは、「標識を使って上手に店選び、あなたも周りも過ごしやすく」です。キャッチコピーで伝えたいことは、店選びをする際に、喫煙や禁煙の標識を使ってほしい、また自分も自分以外も気持ちよく過ごせるようにしたいということです。

◎中学生（3班）

次に、受動喫煙に遭う場所や標識提示で学んだことについてです。

まず受動喫煙に遭う場所については、北区にはまだ歩きたばこをしている人がいることや、公園や店の前でも喫煙をしている人がいることなど、課題が多いことが分かりました。標識掲示については、店に喫煙や禁煙の標識があることを知らない人がいることが分かり、禁煙や喫煙だけではなく、右下にあるようないろいろな標識があることが分かりました。

◎中学生（3班）

続いて、標識を知ってもらうための具体的な方法です。

1つ目は、動画の作成、投稿です。利用者の多いSNSで標識についての動画を上げることで、認知度が上がると思います。

2つ目は、ポスター製作の協力要請です。区内の小中学生に標識を知ってもらうためのポスターを作ってもらい、製作を通じて標識についての知識を深めてもらいます。区の代表生徒のポスターを学校や地域の掲示板に飾ることで、たくさんの人に飲食店の喫煙、禁煙が分かる標識を認識してもらいます。

3つ目は、標識の位置の改善です。標識をさらに目に入りやすい位置に掲載するように改善し、標識の存在を知ってもらえるようにします。

◎中学生（3班）

次に、話し合ったことを今後活かす方法についてです。

話し合ったことは、今後、日常の話題に取り入れることで、周りの大人たちや友達に伝えていくことができると考えました。このように日頃から受動喫煙に対する意識を高めることで、周りの人たちも受動喫煙が身近な存在に感じられるようになると考えました。

最後にまとめです。

今回の受動喫煙の話し合いやスライド作りを通して、飲食店の標識など受動喫煙の存在を身近な問題として認識し、考えを深めることができました。この経験を活かし、これからは受動喫煙への意識を高めながら、私や周りの人々の健康を守りながら生活していきたいです。

これで「TMMS」の発表は終わります。

◎中学生（3班）

ご静聴ありがとうございました。

◎区長室長

3班の皆さん、ありがとうございました。

そうしましたら、中学生の皆さんから質疑をお願いしたいと思います。

じゃあ、4班の皆さんの中からどうでしょうか。

◎中学生（4班）

ティーンズセンターで、個人で遊びたい人とか、交流をしたい人、団体で使いたい人の3つのスペースに分けてそれぞれスペースを発表しているのが、いいなと思いました。

◎区長室長

じゃあ、次、1班の皆さんお願いします。

◎中学生（1班）

ティーンズセンターの立地ですが、家とか学校に近くないとあまり行こうかなとか思わないし、夏とかだったら、外に出るのは暑いし、近いほうがいいなと思いました。

受動喫煙のほうは、何か日常的な会話に取り入れる、日常的に友達との会話に受動喫煙とかの話をしていないから、何か話題に取り入れたら、何かもっといろんな考えとか聞けたりしていいなと思いました。

◎区長室長

それでは、2班のかた。

◎中学生（2班）

ティーンズセンターのほうで、4つに分けてそれを具体的に説明しているのがいいなと思ったし、的確なイラストとか写真があって分かりやすかったです。

◎区長室長

ありがとうございました。

スライドもすごく分かりやすかったですよね。

そうしたら、また理事者の方たちのほう、見ちゃうんですけど、いかがでしょうか。生活衛生課長、かなり標識の提案が具体的に、いろいろあったかなと思ったんですが、どうでしょうか。

◎生活衛生課長

3班の皆様、本当に具体的なご提案をたくさんいただいてありがとうございました。

またちょっとお話がありましたけど、プレゼンが非常に分かりやすいなと思いました。色、そんなにたくさん使っていないと思うんですけど、分かりやすく伝わりやすいなと思って感心しました。

質問させていただきたいのが、SNSでのショート動画の方法なんですけど、こちらのSNSの活用というのは、区のほうでも力を入れてきているところではありますが、長さとか、何分ぐらいだったら皆さん見やすいのかなとか、あと具体的にどんな内容だったらいいねみたいなお話が、もし出たんだとすると、参考にさせてもらいたいなというのが1つあります。

あとすぐにできそうなこととして、標識の掲示の位置を工夫したら良いんじゃないかという提案をいただいたんですけど、具体的にどこら辺、どういうふうに貼るかということと、どういう位置がいいんだろうというのが、もしあれば教えていただけるとうれしいです。よろしくお願いします。

◎中学生（3班）

まずSNSのほうなんですけど、動画の長さというより、ショート動画とかリールで見ているときに、一番最初に目に入ったときに、面白いかどうかで最後まで見るかと判断するんじゃないかなと思ってて、動画の長さは、ショートだから、どちらかというと30秒とか短めに作ったほうがいいと思うけど、一番最初に出すキャッチコピーというのかな、そういうのを意識したほうが、いろんな人が最後まで見てくれる動画になるんじゃないかなと思います。

掲示の位置の改善についてなんですけど、私自身よく飲食店を利用するんですけど、全くこの標識について知らなくて、全部の飲食店に掲示してあると聞いたから、そう

なんだなと思って、やっぱりドア開けて入るじゃないですか。そういうドアとか、机、食べる時の机の端に貼るとかにしたら、もっと目に入る標識になるんじゃないかなと思います。

以上です。

◎区長室長

ありがとうございます。

そうしたら、次、児童館のほうで、子どもわくわく課長いかがでしょう。

◎子どもわくわく課長

発表ありがとうございます。

最後だったかな、皆さんの班の中で出た意見ということで、夜遅くまで利用できるようにするというのがあったんですけど、結構ハードル高いかなと正直思っているとこなんですけど、皆さんとしては、夜遅くというのは、例えば何時ぐらいというのを想定しているのかなというのと、あと何をやってみたいと思っていますか。その2点教えてください。

◎中学生（3班）

まず何時ぐらいまでというのは、大体8時とかで、1年中やるのは、冬とかは日が短くてすぐ暗くなっちゃうので、難しいかなと思うんですけど、夏休みとかでも、学校がないし日も長いので、その分時間がちょっと長くてもいいんじゃないかなと思いました。

長い時間、夜遅くまで利用できると、遅くまで勉強したりとか、友達としゃべったり遊ぶことができるので、いいのかなと思いました。

以上です。

◎区長室長

ありがとうございます。

そうしたら、児童館の先生たち、どうですか？今の話に向けても、向けなくてもいいんですけど。

◎志茂子ども交流館長

素敵な発表ありがとうございます。本当に何ができるかなと私も今自分の施設を思い浮かべながら、いろいろ、頭がぐるぐるしているところでございます。

ちょっと質問したいところなんですけれども、貸しスペースがあるといいというお話がありました。もし借りられる部屋があったとしたら、どのぐらいの時間区切りでほしいかなというところを、ちょっと教えていただければと思います。

◎中学生（3班）

まず質問ありがとうございます。

私的には友達と遊ぶときは、1時間とかで区切ってもらえると長時間のんびりと楽に過ごすことができるのでいいと思いました。

◎志茂子ども交流館長

ありがとうございます。

もう1つ質問させていただきます。

居場所を探すに当たって、皆さんいろいろ携帯を使ったりして、検索をしたりする

と思うんですけれども、どういうキーワードで検索しているかというのをお聞きしたいです。例えば「中学生」で検索するとか、「居場所」とかで検索するとか、なかなかティーンズセンターも知れ渡っていないというところもございまして、どんなワードで検索するのかわかりやすく教えてください。

◎中学生（3班）

勉強したい人とかだったら、「中学生 勉強できる場所」とか、遊びたいとか、運動したいとなったら、「中学生 室内で体を動かせる場所」とかかなと思います。

◎志茂子ども交流館長

貴重な意見ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございます。

中高生の皆さん、居場所を求めています。教育振興部長、その辺はどうでしょう。

◎教育振興部長

発表ありがとうございます。

私は小中学校を運営する側なので、いわゆる児童館とかティーンズセンターは、守備範囲外なんですけれども、今出てきたプレゼンの中では、まずティーンズのほうについては、こっちもハード整備等、場所の話が多かったので、さっき1班で聞いたようなソフト、例えばイベントとか行事とか、そういうもので、これやってくれるといいなというのがあったら、教えてもらいたいなというのが1つ。

受動喫煙のほうでは、歩きたばこをする人がまだたくさんいるという話があったと思うんです。比較的よく見る場所とか、皆さん、それぞれの中学校が違うと思うんですけれども、それぞれの中でどのあたり、どの駅の近くが多いとか、何かそういうのがあったら、具体的に教えてもらえるといいなと思いました。お願いします。

◎中学生（3班）

まず、ティーンズセンターのイベントに関してなんですけども、最後に特技が披露できるというイベントの開催がいいかなと思っていて、その特技も何か絵とかでもいいし、スポーツとかでもいいので、幅広い特技が披露できるといいかなと思いました。

◎中学生（3班）

喫煙の場所なんですけど、私、今朝もいつもの公園を歩いて駅の方に向かうんですけど、そのときもやっぱりたばこを吸っている人と擦れ違ったりすることが多くて、あと帰りに歩いていると、たまにすれ違うことがあるので、駅の近くの公園とか、通路とかが多いかなって思います。

◎教育振興部長

ありがとうございます。

ちなみにどこの駅を使ってるの？

◎中学生（3班）

浮間舟渡です。

◎教育振興部長

浮間舟渡ね、よく分かりました。

ありがとうございます。では、区としても気をつけていきます。

ありがとうございました。

◎区長室長

そうしましたら、質疑の最後は政策経営部長いかがでしょう、大所高所からご意見いただければと思います。

◎政策経営部長

発表ありがとうございました。

ここまで皆さんの発表を聞いていて、やっぱり思ったのは、ティーンズセンター、今は知らない、利用したことがないという方が多かったのかなというふうに思ったんですけど、ただ、誰もが過ごしやすい場所になれば利用したいという思いもちょっと伝わってきました。

ちょっと聞きたいのは、皆さんたちは、ふだん居場所というか、過ごしている場所というのは、家と学校以外のところでは、どういったところが皆さんの居場所になっているのかというのをお聞きしたいのが1つと、それと受動喫煙のほうなんですけども、これは皆さんたちが知っているかどうかというより、皆さんの家族とかも含めて知っているかどうかということちょっと聞きたいんですけど、北区は喫煙そのものが禁止されているエリアがあるのと、それと、歩きたばこは区内全域禁止なんですけども、止まって吸うのは構わない、オーケーだよというエリアと、吸うこと自体が駄目だよというエリアと両方あったりするんですけど、その辺が知られているのかどうかを聞きたいと思います。

◎中学生（3班）

ティーンズセンターのほうからいくと、ふだんの居場所はやっぱり家が多いかなと思っていて、今どきSNSとかゲームが発達していて、友達と友達の家に行ったりとか多いけど、やっぱりその家でも都合、不都合があるから、ティーンズセンターでも、そういうゲームとか友達と交流できるスペースがあったら、もっと行きやすい場所になるんじゃないかなと思います。

親が知っているか、親とか私たち周りの人が知っているかという話ですが、あんまり知らないかなと思います。

何か道端でたばこを吸っている人とか見かけると、「何だよ！」とか言っているから、やっぱり「たばこを吸っている人イコール嫌だ」みたいな感じで、どこが禁止されているとか、何も知らないと思います。

以上です。

◎政策経営部長

ありがとうございます。

ちょっともう1つ。自習室とか勉強できる場所という話もあったと思うんですけど、図書館とかはあんまり利用したりはしないですかね。どうでしょうか。

◎中学生（3班）

私の学校の周りだと中央図書館は利用している人、すごく多くて、「じゃあ、今日中央図書館、勉強会しに行こうぜ。」とか言っている人も多いですけど、最近、上十条図書館って知っていますか？そこがなくなっちゃったじゃないですか。私のほうの区域だと、上十条図書館を利用している子が多かったの、最近、そういう図書館と

かも減っているなというのがあります。

だから、そういう面でもティーンズセンターとかがいっぱい普及して利用できるよ
うになればいいんじゃないかなと思います。

◎政策経営部長

分かりました。ありがとうございます。

◎区長室長

3班の皆さん、ありがとうございました。

以上で3班の発表を終わります。

それでは最後になります。4班の発表に移らせていただきます。

4班は「チーム☆ I M A K A W A」さんです。

◎中学生（4班）

稲付中学校2年、〇〇〇です。

中学生モニターは参加するのが初めてで、皆さんとも会うのは第1回が初めてで、
最初すごく緊張したんですけど、最後のほうですごい企画とか考えて盛り上がってき
て楽しかったです。

中学生モニター、参加してよかったと思いました。

ありがとうございました。

◎中学生（4班）

サレジアン国際学園1年、〇〇〇です。

モニターでは初めて会う他校の先輩たちとたくさん話して、また新たな知識が身に
ついて、より実りある2日間を過ごすことができました。

ありがとうございました。

◎中学生（4班）

滝野川紅葉中学校2年の〇〇〇です。

こうやって何かをテーマにして他校の人たちと会議をするのは、初めてだったので、
最初は結構緊張しちゃったんですけど、最後は仲良くスライドも作れたので、すごく
よかったです。いい経験になりました。

ありがとうございました。

◎中学生（4班）

これから「チーム☆ I M A K A W A」、4班の発表を始めます。

まずは中学生が行きたくなるティーンズセンターの話についてです。

このままだと、どこかオリジナリティが足りない気がしたので、「I M A K A W A
児童館の設計図」という名前を付けました。

内容ですが、実際に北区にある児童館などをベースにして中高生たちがまた行きた
いと思える場所を設計図にして考えてみました。

◎中学生（4班）

こちらが私たちが考えた児童館の全体の見取図です。

一人ひとりが楽しめる場所を作るため、騒げるスペース、大きな声を出せるスペ
ースと、静かにできるスペースを作りました。

また、さらに居心地のいい場所にするために、一応出入口付近に悩みを相談できる

ボックスが置いてあるということになっております。

まずは騒げるスペースの説明です。こちら、騒げるスペースでは、左上のほうに音楽室のホールがあります。

音楽室ではキーボード、ドラム、ギターなどの楽器などを設置して、初めて挑戦する人でも気軽に体験できるようにしています。

自分で小型の物なら持ってきて演奏することもできます。

次はゲームルームです。

上のほう、ゲームルームでは、ボードゲームなどで遊べる場所です。自宅からボードゲームを持ってきて遊ぶこともできます。

下のほうにあるホールでは、スライド自体にも書かれていますが、ボールで遊ぶことができます。家からボールなどを持ってきてプレイすることももちろん可能です。

◎中学生（4班）

次に静かにできるスペースです。

上のほうにある個人自習室スペースでは、パネルなどで区切られた個室で勉強ができます。1部屋につき折り畳みの小さな机や椅子などが設置されています。

右上にあるワークスペースでは、自分で材料などを持ってきて物を作ることができます。はさみなどの基本的な道具は一応設置してあります。

読書スペースでは、名前のとおり、読書ができるスペースです。絵本や小説など、幅広い年代用の本を設置して置いてあります。

◎中学生（4班）

皆さんも「I M A K A W A 児童館」に来てみませんか？

今回の活動で自分たちがどんなスペースが欲しいか考えることで、中高生が行きたくなるティーンズセンターについて深く考えることができました。

◎中学生（4班）

次に受動喫煙についてです。

まず、私たちがよく見かける受動喫煙の場所です。最も多かったのが、駅の近くの喫煙所。

次に多かったのは、路上で吸っている人の近く。

次は居酒屋とコンビニのドアの前でした。

◎中学生（4班）

そこで私たちは「STOP！！標識を見て吸っていますか？」というキャッチフレーズを考えました。

このキャッチフレーズに込めた思いは、たばこを吸う人も吸わない人も標識を意識できるようにしたいことと、問いかけを含めることで印象に残るようにしたいということです。

私たちは標識を多くの人に知ってもらうために、講習会を開くことが必要だと考えました。

理由は講習会を開くことで、受動喫煙などについて知るきっかけができ、受動喫煙が深刻な問題だと理解することができるからです。

メリットは標識を見て受動喫煙の被害を意識してもらえるようになることだと考え

ました。

2つ目はパンフレットを配布することです。

今は中学1年生に向けたリーフレットが配布されていると、このモニター会議で学びました。

標識のことなどを知ってもらうためには、中学1年生だけではなく、他学年にも知ってもらいたいなと思いました。

◎中学生（4班）

最後に今回の受動喫煙の学んだ内容をどう活かすかですが、1つ目は先ほど述べたように、パンフレットの存在を周知して、飲食店の禁煙や喫煙を理解する。

2つ目は付近のよく見る掲示板等にポスターを貼る。

3つ目は実際に家族と標識について話し合い、理解を深めることです。

◎中学生（4班）

これで「チーム☆IMAKAWA」の発表を終わります。

◎中学生（4班）

ご清聴ありがとうございました。

◎区長室長

4班の皆さんありがとうございました。

それでは質疑に移ります。

1班の皆さんはどうでしょうか。

◎中学生（1班）

児童館のほうでは、見取図を作っていて、しかも立体的な説明とかもあって、すごく分かりやすかったです。

受動喫煙のほうでは、パンフレットを配布すると言っていたと思うんですけど、パンフレットが学校とかで配られれば、配られたときに見られるし、また家に持ち帰ったときに家族の人とかにも見せられるから、とてもいいと思いました。

以上です。

◎区長室長

続いて2班です、どうでしょうか。

◎中学生（2班）

先ほどの意見にもあったんですけど、見取図などを使って具体的にまとめられていたのは、いいと思いました。

また、受動喫煙のほうでは、家族で話し合うという意見は僕の中でなかったので、いいと思いました。

以上です。

◎区長室長

3班の皆さん、どうでしょうか。

◎中学生（3班）

見取図を作るのは、見やすくよかったというのと、1個質問なんですけど、騒げるスペースと静かにできるスペースで区切られているようになっているんですけど、何かそれってホールとかから声が漏れて静かにできるスペースのほうに聞こえないか

な、ちょっとそれってどうなっているのかなって。

◎中学生（4班）

質問ありがとうございます。

実際にみんなで児童館見学に行って、スペースそのものがあまり大きくなかったから、こういう形にはなってしまったんですけど、みんなが楽しく使えるように、騒げるスペースでも全体のことを配慮しながら騒ごうね、というルールを作ることができたらいいかなと思いました。

◎中学生（3班）

ありがとうございました。

◎区長室長

すばらしい指摘ありがとうございます。

そうしましたら、部課長の皆さんからどうでしょうか。

じゃあ、生活衛生課長お願いします。

◎生活衛生課長

4班の皆様ありがとうございます。

いろんな提言があって、ありがたいなと思います。

質問させていただきたいんですが、講習会ということで、講習会はなかなか参加していただくことが難しい。周知、普及啓発の方法としては、なかなか参加していただくことが難しいのがいつも課題になります。

その中でターゲットをどういうふうにイメージしていらっしゃるかということと、どういう人たちを対象に講習会をしたらいいのかということと、あと方法、どんな講習会をやったらいいか、来てもらう、行くとか、他の媒体とか、いろいろ講習会の種類が考えられるかなと思うので、もしその辺り、意見が出たとすれば教えていただきたいなと思います。

あと、もう1つ、質問たくさんでごめんなさい。

毎年中学1年生の皆さんにリーフレット、こういうのを配っています。1年生のかたはまだ見ていないと思うんですけど、2年生以上の方、ご覧になったことはありますでしょうかということと、あと、どういうふうに学校で配られたか、例えば何か説明があって配られたか、ほかの配布物と一緒にまとめて配られたかというようなことが、記憶に残っているようでしたら、教えていただけるとうれしいです。

よろしくお願いします。

◎中学生（4班）

講習会では、この間、私の学校では、薬物乱用防止教室というのが開かれて、そのときに講習会が開かれたんですけど、すごく印象にも残ったので、学校に来てもらうという形にはなるんですけど、そういうのを開いてもらったら、全校生徒が参加して禁煙のことについて知ってもらえるのかなと思いました。

土曜日とかの授業だったら、保護者の方も参加できると思うので、その日にやってもいいと思いました。

リーフレットは何か普通の学校の手紙と一緒に配られた記憶があって、説明はされていなかったのが記憶がうっすらあるんですけど、あまり印象には残らないような感

じでした。

以上です。

◎生活衛生課長

ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございます。じゃあ、児童館のほうで、子どもわくわく課長、いかがでしょうか。

◎子どもわくわく課長

発表、お疲れさまでした。

今、スライドに出ていますけど、見取図で騒げるスペースと静かに過ごせるスペースと分けたというのは、これはいいアイデアだなというふうに思いました。

1点、ちょっと質問したいんですけど、これって中高生の人たちは多分これでいいと思うんですけど、ティーンズセンターって中高生以外の人、具体的に言うと、乳幼児親子も利用するんですよ。

なので、乳幼児親子さんが過ごすのは、どこで過ごすのかなというのを、ちょっと聞いてみたいなというふうに思います。

◎中学生（4班）

質問ありがとうございます。

こちらでは乳幼児親子は、一応静かにできるスペースの空いている薄い色のピンクのスペースで過ごすという考えが出ました。

すみません、少し時間等足りなくて、書くことができなかつたんですけど、一応トイレの近く、出入口やその周辺に授乳室なども設置する予定ではありました。

ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございます。

それでは、質疑の最後になります。

桐ヶ丘児童館長、どうですか。

◎桐ヶ丘児童館長

発表ありがとうございます。

少数精鋭のメンバーで、とっても素敵な発表をしていただいて感心したところです。

そこの学習スペースのことで少し質問なんですけれども、例えば自習スペースがあった場合に、ほかの班からもいろいろ意見が出たと思うんですけど、こんな設備があったらいいなとか、やっぱり参考書があったほうがいいのか、やっぱり場所が区切られるだけでいいのか、どんなものがあるといいのか、例えばお互いに教え合うとか、誰かが教えてもらうとか、そういう人がいてもいいのか、いなくてもいいのかとかというところとか、学習スペースがより充実するためのご意見を聞きたいなと思ったのが1つ。

もう1つが北区の中学生、高校世代の人に利用していただきたくて、ティーンズニュースというのを年2回作っていて、それを先日きたコンを使って皆さんに配布したんですけど、ご覧になりましたか？

何人かが「うん！」って言うてくれたかなというところで、今そういう周知をしているんですが、なかなか苦労しているところがあります。

今、携帯で多くのSNSのツールとかもあったりするんですけど、こんなツールだったら見やすいなとか、さっきショート動画というのも挙がっていたんですけど、北区では今、Xを使ってはいるんですけども、例えば動画の何か使えるこういうアプリであるとか、こういう手段としてこれがいいんじゃないかと、もし提案があれば聞かせていただけたらうれしいです。

お願いします。

◎中学生（4班）

はい、ありがとうございます。

自習スペースの設備などは、少し私の考えなども入ってしまうんですけども、薄くてもいいんですけど何か1つ、隣との壁があるだけで、大分集中力が上がるし、ほかのものに気が移らなくなるので、パネルで区切られているという考えが出ました。

友達同士で教え合うという点では、一応2人などで使うには1つのパネルの個室では少し狭くなってしまうので、パネルをどかしたりして、個室を広くするという感じです。

あとは、ツールは壁紙などとかに貼ってあったら、もしかしたら分かりやすいかもしれないです。

◎桐ヶ丘児童館長

すみません、ありがとうございます。

◎区長室長

4班の皆さん、ありがとうございました。

以上で発表を終わります。

6 . 講 評

◎区長室長

モニターの皆さん、発表お疲れさまでした。

ここから講評に移らせていただきたいと思います。

皆さんのすばらしい発表と感想、本当にありがとうございました。

それでは、ただいまの皆さんの発表や感想を受けて区の出席者から一言いただきたいと思います。

子どもわくわく課長、連投、連投に次ぐ連投で申し訳ないんですけど、子どもわくわく課長から順にお願いしたいと思います。

◎子どもわくわく課長

それでは私のほうから講評をさせていただきます。

まず、初日にも私、言ったんですけど、まず皆さんが発表に至るまで非常に真剣に、そして真面目にそして自分ごととして取り組んでくれたこと、これをまず感謝したいというふうに思います。

本当にありがとうございました。

その上で全体というのもあれなので、各班ごと、ちょっと気づいた点を少しお話ししたいなというふうに思っています。

まず、1班さんなんですけど、コスパを意識しているというのが、やはり皆さんの世代らしいなというようなことを感じました。

プリクラというのはよく出てくる話なんですけど、部屋をデコレーションするんだというような話もあって、そういうコスト意識みたいなものというのはよく出来ているなというふうに感じました。

それから少し質問させていただきましたけど、やはり皆さん、ただ楽しい場所だけじゃなくて、安全で安心な場所というものを求めているんだなというのを感じました。

それから、受動喫煙のほうに関しては、ステッカーですとかチラシの配布ということで、意外に何かアナログな方法だなというのは、ちょっと驚きましたけど、ただこういう地道な活動というのは、やはり大切だろうなというふうに思いました。

それから次、2班さん。2班さんは笑顔にさせるということで、どうしても我々って「どうしたらいっぱい来てもらえるんだろうか？」ということを考えがちなんですけれども、「笑顔にさせるようなところであれば、人が来る」というような考え方でやっていたのかなというふうに思いました、そういう発想も面白いなというふうに思いました。

それから、体験を充実させるというのを強調していたかなというふうに思いますけど、それは我々も目指しているところなので、ちょっと参考になりました。

それから受動喫煙のほうについては、受動喫煙が今どこで行われているのかというのを、よく調べていて検討を始めていたので、そこはすごくよかったと思います。

それから、こちらのほうで意見も出ていましたけど、喫煙している人についても配慮するというような視点というのは、これは皆さん、今、世の中が全て何ていうんですか、善悪をはっきりさせてというような風潮が流れていますので、そういう風潮に染まっていないんだなということで、何か安心をしました。

次に3班さんなんですけど、団体個人、交流できるスペースって分ける視点は、これは非常に面白いなと思いました。

それから、こちらの意見も出ていましたけど、スライドが非常に分かりやすかったというのがあります。

ただ、ちょっと立地の話については、何かもう少し掘り下げてもよかったんじゃないかなというふうに思います。

それから、私のほうで「夜遅くまで開くって何時ぐらいまで？」という質問をさせていただいた中で、「何をやるんですか？」というような質問に対して、私は当然ゲームをしたいとか遊びたいとかという回答が返ってくるのかと思っていたら、勉強をしたいということで、やはりこの会議に出ている人たちは、皆さん何か違うんだなと思いました。

それから、受動喫煙のほうなんですけど、標識の種類についてよく調べていたなというのがあります。

それから、標識の位置の改善というのも必要なんじゃないかというのは、これはそのとおりだなと思います。

ぜひ受動喫煙というのを身近な問題として捉えていただきたいなというふうに思います。

それから、最後に4班さんです。

これも出ていましたけど、設計図にするという、この斬新なアイデア、これは非常に分かりやすかったです。

それから、騒げるスペースと静かに過ごすスペースということで、これはいろんなニーズがある中、それに応えられるアイデアかなと思いました。

それから、喫煙のほうについては、キャッチフレーズを考えるというのがよかったと思いますし、そのキャッチフレーズの内容も結構よかったなというふうに個人的には思います。

いずれにしましても、どの班にしましても、この短時間で資料の作り込み、それから発表の仕方、これは本当に大人顔負けで、ぜひ皆さんには明日からうちの課で働いてもらいたいなと思うぐらいすばらしかったというふうに思います。

3日間、初めましての人たちと議論して、こうやって発表をするための成果物を作り上げるというところまで、この短時間でやってのけたというのは、本当にすごいなというふうに思います。

3日間、本当にお疲れさまでした。

ありがとうございました。

◎区長室長

子どもわくわく課長、ありがとうございました。

班ごとに丁寧に講評いただきまして、ありがとうございます。

それでは、生活衛生課長、お願いします。

◎生活衛生課長

皆様本当に3日間ありがとうございました。

発表も大変すばらしくて、いろいろ私のほうも学びが多かったです。

最初の初日にご挨拶させていただいたときに、受動喫煙、喫煙・非喫煙の標識があるということを知ってもらうなんて、非常にコアなお題になったんですけど、でもそれはそのことだけを捉えると、すごく狭いんだけど、健康づくりという大きな計画の中の1つの施策なんです。

なので、そういう視点を念頭に置いて考えてくださいねってお願いをしたと思うんですが、本当にこの受動喫煙って、しかも飲食店には喫煙可能な標識と禁煙の標識とあるけれども、それをどういうふうに皆さんに知ってもらうのがいいんだろうという、本当に小さいところをよくここまで提案していただけて、本当にありがたかったなと思っています。

ありがとうございました。

私も受動喫煙防止関係が中心になってしまいますけれども、各班について講評させていただければと思います。

まず1班さんなんですが、「場所選びだけで増える笑顔」というキャッチフレーズが、非常に伝わりやすく、標識の本質を捉えた視点だなと思いました。非常によかったと思っています。

あと、ポケットティッシュなんですけれども、ポスターのコンクールとかをやったとして、その入賞作品を使うとか、あとデザイン性が優れていれば、ポケットティッシュを普通にもらっても、すぐに見ないでしまっちゃうということなく、見ていただけるというような提案があったので、参考になるなと思いました。

続いて2班さんですけれども、こちらは何回もほかの方からもお話がありましたけれども、「互いに理解、互いに防止、互いに気遣い」というところや、「喫煙者も非喫煙者も悪いことは1つもしてないんだよ」というところが本当に心に刺さりました。

どうしても喫煙者と非喫煙者というのは、対立の構図ができがちなんです。とても感情的にご意見をいただくことが多いです。その中でこういう視点を誰に何を言われたわけでもなく、自然に言ってくださったというのが、大事な視点だなというのを改めて感じる事ができて、ぜひこういったところをベースに今後の取組をしていければなというふうに思いました。

続いて3班さんです。こちら繰り返しになりますが、プレゼンがいろいろ分かりやすく、すごいなと思ったんですけれども、「標識を使って上手に店選び あなたも周りも過ごしやすい」というのは、非常にリズムがよくて、キャッチフレーズとしてはなかなかいいなと思いました。

また、区ではSNSによる発信を増やしているところですが、やはり今日の提案を伺ってその重要性を再認識しました。

ショート動画の場合には本当に最初が肝心ってところですね。すぐできるかは分からないですけど、でもそういう視点で今後展開していかなきゃいけないかなというふうに思いました。

次に4班さんです。講習会というのは、逆に新鮮でした。

なかなか講習会って難しいなと思うことが非常に多くて、動画配信とかに換えるのがいいのかしらと思うところが多かったんですけれども、出前講習が例えば薬物乱用防止の講習会でも非常に記憶に残ったという話があったので、ターゲットをちゃんと選ばせていただければ、その出前講習、対面で肉声で話をするというのも非常に有効なんだなということを改めて実感いたしました。

たばこのことばかりで恐縮なんですけれども、総体として若い世代ならではの柔軟な視点だったりとか考えがある一方で、非常に現実的なご意見、ご提案をたくさんいただきましたとっております。

ですので、我々と中学生の皆さんというのは、協働していく相手としては、すごく頼もしいんだなということを今回知ることができて、本当にありがたかったです。

3日間お疲れさまでした。ありがとうございました。

以上です。

◎区長室長

生活衛生課長ありがとうございました。

受動喫煙の問題って本当に区民の方たちのいろいろなご意見の中で、所管課長が苦悩しながらいろいろ取組をしているんですね。

その中で自分も今日中学生の皆さんのご意見を聞いて、目が覚めるような思いをしました。

本当にありがとうございました。

次に教育振興部長、お願いします。

◎教育振興部長

皆さん発表ありがとうございました。

私の仕事は、先ほどお話したとおり、小学校とか中学校の取りまとめとしている職場です。

ですので、皆さんの校長先生とかと、頻繁に会います。そうした中で私は全体の話をしたと思います。

幾つかお話をさせていただきましたけれども、毎年発表については、やっぱりどの中学校もすごく上手です。

それはふだん皆さんが学校の中で、自分の中でまず調べて、その後にチームでも対話をして1つのものを作っていくということが、すごく定着しているからだなというふうに思いました。

今年の発表もとてもよかったです。その中で、皆さんがほかの班の意見を聞いて、ああ、そういう切り口ってあるのねと思ったのが4班の見取図の話で、一番みんなには新鮮だったと思うんですけど、そういう、ほかの人の意見を聞いて、それを参考にして自分のものにしていくということが、これからみんなが中学校が終わって、高校に行って、さらにその後、仕事をするようになって、その考え方で仕事をしていくことのほうが圧倒的に多いです。

ですので、そういったことをこれからも大事にしてもらいたいというふうに思います。

あともう1つ、自分のほうから質問で、特に児童館の話はハードの話、建物の設備の話はあったけど、ソフトの話、イベントの話ってないですか？という話を聞かせてもらいました。それもこっち側から見ているだけじゃなくて、ほかの角度でいろいろ見てみると新しい気づきがあると思います。

ふだんの勉強の中や生活の中でも、そういうふうに人の意見を聞いて自分のものにしていくというのは大事だと思うので、これからも引き続き頑張ってもらえればと思います。

今日は本当にありがとうございました、参考になりました。

◎区長室長

教育振興部長ありがとうございました。

次に子ども未来部長、お願いいたします。

◎子ども未来部長

本当にありがとうございました。

ちょっと仕事柄ティーンズセンターのほうに偏った話をさせてください。

まず、ティーンズセンター、今回提案するに当たって、皆さん、全体に対しての受け止めなんですけど、自宅や学校以外、中学生ということにもなって、大人の目があんまりかからない、というのか薄くなるというか、何かそういったところで誰もが安心してくつろげる場所というのがZ世代に必要だという、そういう受け止めでいいよね。

つまり児童館行かない、中学生なんかもういい、まねきねこ行く、だからいいんだ、もういい、児童館はおじいさんおばあさんに囲碁でも将棋でもやらせてあげればいいんだということではないんだよね？やっぱり欲しいんだよね？

けど、もっと魅力的にならなくちゃいけないのかなということはずごく受け止めます。やっぱりキラコンテンツがちょっと薄いのか、そんな感じだよね。

まねきねこには行きたいけど、児童館に行こうって話にはあんまりならないよね、正直。

そういったことで現状を受け止め、できればユーザーのメインターゲットとなる皆さんと一緒にどうしたらいいかを考えて、また我々が取組を進める際にもぜひご協力してほしいなと思いました。

そこで1つお知らせと提案をしたいと思います。

お知らせです、皆さん子どもの権利と幸せに関する条例って聞いたことがありますか？

ある。ごめんなさい、ちゃんと聞きましょう。聞いたことある人。知らなくたって別に進学には響きません。半分ぐらい。

2年前ぐらいに作ったのかな、「皆さん幸せになっていいんです。それを北区に住んでいる大人は全力で応援します」と、そういう約束をした条例です。

それに当たって、皆さんは、いいですか、自分の意見を言えるんです、大人に対して言えるんです、そういったことが書かれています。

だから、これからもこういった場、ぜひいろいろ思ったこと、感じたことをぜひ大人たちにぶつけることを続けてください、お願いします。

そしてもう1つ提案です。

2日間、どう？話し尽くして疲れた？今日の提案を聞いて、映える装飾とか、プリクラ、もうちょっと話を聞きたいなと思っています。

もうすぐお昼でおなかもすくかもしれないですけど、もしよかったら、延長戦やりませんか。

すみません、残れる人だけで結構です、よろしくお願いします。

◎区長室長

子ども未来部長、ありがとうございます。

残れる中学生の皆さんいますか？大丈夫ですか？

急なむちゃぶりだったかもしれないんで、ちょっと後で相談させてください。

続きまして、北区保健所長、よろしくお願いします。

◎北区保健所長

3日間でしたけれども、皆さんは現場を最初見て歩かれて、皆さんの目ならではの問題の指摘もあったと思います。

私たち、駅近くの喫煙所で、受動喫煙、いろんな見方があると思いますけれども、いろんなことに気づいて、大変よかったと思います。

それから皆さん、班ごとにみんなと意見を交わしながら、人の考えも取り込みながら、まとめていただいて、最後、パソコンできれいに、我々、私たちが中学生のとき、とてもそんなことはできませんでしたが、非常に分かりやすくやっていただけ

て大変よかったと思います。

私たちそれぞれ考えて、大人といいますか、実際ここで仕事をしている者たちも十分取り入れていけるものをたくさんいただけたと思います。

まず北区のティーンズセンターなんですけれども、今のそれぞれのティーンズの個人の多様性に配慮したような、行きたくなるセンター像を具体的に示していただけた、それが大変よかったと思います。

それはこういうふうなイベントをおこなっていくであるとか、こういうふうに行きやすくするとかのソフト面の提案がありますし、こういう見取図があって、こういう配置したようなティーンズセンターの企画だったりということを提案いただいて、それは大変ありがたいと思います。

それから、飲食店の禁煙・喫煙の分かる標識ですけれども、そちらのほうも具体的な標識などですとか、それから標識の場所、掲示方法、あとは動画を使っての説明等もありました。そういう掲示方法の説明ですね。

それからもっと大事なかなと思ったのは、受動喫煙防止の意義の理解、私たちが周知広報をしていく際に、大事なことだと思うんですけれども、きちんと本質の説明を分かりやすくして、理解いただいた上で、周知広報していただくとより分かるんだということですが、そうしたことも大切だと思うとご指摘いただきました。

ありがとうございます。

様々なご意見、私たちが仕事していく上で活用させていただきたいと思います。

ありがとうございました。

◎区長室長

次に、政策経営部長、お願いします。

◎政策経営部長

皆さん発表ありがとうございました。

ずっと話を聞いているだけで、そろそろ疲れてきちゃったんじゃないかなと思いますので、ちょっと短めにお話ししたいと思いますけれども、1回目の会議の前に私のほうからは、皆さんにとって素敵な機会になるようにというお話をちょっとさせていただきました。

せっかくの夏休みの貴重な3日間だったと思いますので、今回皆さんの発表を聞いていて、結構素敵な時間になったんだろうなというところを感じられました。

皆さん方、グループで話し合いをするというのは、すごく慣れているんだと思うんですけれども、先ほど教育振興部長からもありましたけど、グループで話し合っただけで物事を解決していくというのは、大人になってもずっと続くことです。

これはこの後、高校生大学生になってもそうですけども、社会人になっても自分一人では、答えってなかなか見つけ出せないことっていっぱいあるんですけれども、皆さんで話し合うことで、課題を解決するということってこれからもたくさんあると思いますので、今からたくさんこういうグループで話し合っただけで物事を解決するという経験をたくさん積んでもらいたいなというふうに思います。それがきっと将来に生きるということになりますので、そこを意識しながら、これからも取り組んでもらえればと思います。

今回のテーマですけれども、ティーンズセンターと受動喫煙、やっぱり率直に感じたのは、周知不足だな、知られていないことがたくさんあるなというふうに思いました。

私たち区役所としても、多くの人に知ってもらえるように、たくさんいろいろと取組をしていかなきゃいけないなというふうに思いました。

それと今回こういう機会があって、皆さんたちもこのティーンズセンター、受動喫煙の問題を知ることになったと思いますので、皆さんたちもほかの友達なんかにも、こういうところを広めていってもらえたらなというふうに思います。

本当に3日間、いろいろと大変だったかと思えますけれども、貴重な夏休みの期間、ありがとうございました。

◎区長室長

それでは、最後にやまだ区長からお願いします。

◎やまだ区長

3日間、大変お疲れさまでした。

改めてこのモニターに参加を決意し、参加してくださった皆さんに心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

そして、私からは感じたこと1つと、それからお願いが2つです。

1つはやっぱり皆さんからもお話がありましたが、今回のモニター制度を活用して皆さんにいろんなことを考えていただけたこと、区の施設について、利用について考えていただけて、それはすごくうれしかったなということと、併せて利用する人や自分について掘り下げて考える機会になったんじゃないかなということは、すごくうれしく感じています。

私たち区としては、改めて利用者やまた住民の方々の当事者の意見を聞いて、それを基にした政策を作っていくことの重要性を実感しました。

ありがとうございました。

そして、2つのお願いですが、皆さん、これからまだまだ人生長くてたくさんのごことを経験していく中で、自分で感じていること、思っていることを他人に伝える、それで、併せて他者がどんなことを感じているかということを感じ取ること、このことをやっていただきたいなというふうに思っています。それを通じて自分がしたいこと、やりたいことを諦めずに実現するまで頑張ってください。

このことをお願いしたいことの1つ、そして、もう1つはさっき部長からも話ありましたが、ティーンズセンターや児童館の施設の職員、みんな工夫しながら頑張ってくれています。この頑張りを今日参加していただいた皆さんがインフルエンサーになって、どんどん口コミして、利用者を増やしていただきたいと思えます。

インターネットとか今、流行っているんですけど、いろいろ伺っていると、最初はやっぱり口コミで利用者が増えるんだなということも感じました。

今日からティーンズセンターのインフルエンサーに皆さんがなっていただくことをお願いして終わりにしたいと思います。

本当に3日間、ありがとうございました。

フ . 閉 会

◎区長室長

やまだ区長ありがとうございました。

それでは最後になりますが、皆さん2週間にわたり中学生モニターとして活動いただきました。

本当にありがとうございました。

本日で中学生モニターの活動は終了となりますが、モニターとして活動をした経験や活動を通して知り合ったこの仲間は、ぜひ大切にしてください、引き続き勉強や部活動に頑張ってくださいと思います。

以上をもちまして令和7年度中学生モニター会議、発表会を終了といたします。

ありがとうございました。

令和7年度「中学生モ二夕一会議」

活動記録

令和8年2月

刊行物登録番号 7-1-102

編集発行 北区総務部区長室
東京都北区王子本町 1-15-22

電話 03(3908)1219